

おもてなしの心学ぶ

オリ・パラで
二中3年生 109人が元客室乗務員から

県教委の「県オリンピック・パラリンピックを活用した取組」で推進

校となつている館山市の第二中学校（羽山稔彦校長）で2日、日本航空の元客室乗務員を招いた講演があり、3年生109人が「おもてなしの心」を学んだ。

同校では、7月にモンゴル五輪女子バレーボール金メダリスト、田村悦智子さん（旧姓・前田）による講演会

が行われ、学校全体としてオリ・パラへの関心を高めている。

今回は、日本航空の客室乗務員を30年務め、その後は筑波大学客員教授として、国内外でおもてなしの心をテーマにした講演活動を続いている江上いずみさん（56）を講師に、サービスとおもてなしの違いや相手に好印象を与える態度、言葉遣いを学んだ。

江上さんは、第一印象で高める5原則としており、「表情」「態度」「身だしなみ」「言葉遣い」「あいさつ」を挙げ、「自分がされたら嫌だなどと思うことはしない、相手が喜んでくれるだろうな」という気持ちが「おもてなし」と生徒らに語り掛けた。

同校では、きょう8日午後1時半から、日本ボランティアネットワークの講師を招いた講演会「スポーツボランティアと私」も予定されており、東京大会に向けてその機運を高めている。

ドバイス。

最後は機内アナウンスで締めくくり、生徒からは大きな歓声が上がっていた。

吉田千聖さん（14）は



生徒らにアイコンタクトの大切さを伝える江上さん（中央）=館山二中

2017.11.8 (U) =房日新聞